

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	園講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	西洋庭園学特論Ⅱ			実務経験	○	Active・L ○
科目コード	642462	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	平岡 直樹					
授業概要	本授業の目的は、まず西洋庭園の特徴を理解した後に、その空間構成手法や景観特性を分析評価する知識や技術を身につけることである。次に、歴史的西洋庭園の現在における維持管理の特徴や技術などを学び、その特長や課題を見出す。					
関連する科目	西洋庭園学特論Ⅰ、東洋庭園学特論Ⅰ、近代庭園学特論Ⅰなどを受講ししっかりと復習しておくことが望ましい。					
授業の方法と進め方	配布資料等で西洋庭園の事例を見たのちに、構成手法、景観特性について学ぶ。また、それぞれの様式ごとに維持管理手法について学ぶ。その他様式との比較を通じ西洋庭園の管理の特長と課題を考察する。ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をする、または学外にて調査を行うなどアクティブラーニング型の授業を行う。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 西洋庭園様式の特徴 ガイダンス 2 イタリア式庭園 露壇（テラス）式の事例 3 イタリア式庭園 露壇（テラス）式の構成手法 4 イタリア式庭園 露壇（テラス）式の景観特性 5 フランス式庭園 平面幾何学式の事例 6 フランス式庭園 平面幾何学式の構成手法 7 フランス式庭園 平面幾何学式の景観特性 8 イギリス式庭園 写実風景式の事例 9 イギリス式庭園 写実風景式の構成手法 10 イギリス式庭園 写実風景式の景観特性 11 イタリア式庭園 露壇（テラス）式の管理 12 フランス式庭園 平面幾何学式の管理 13 イギリス式庭園 写実風景式の管理 					
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業を通じて、西洋庭園についての幅広い知識を身に付けます。 2) 西洋庭園の歴史について知識を身に付けます。 3) 西洋庭園の作庭技術について詳しくなります。 					
授業時間外の学修	第1回目の授業で示す参考図書など、主に基礎的な西洋庭園に関する資料を授業前に読んでおいてください。授業後に理解が曖昧な時は再度精読してください。また、庭園についての知見を深め、世界の庭園の理念や技術の違いを理解するために、身近な庭園や公園等へ赴き、その成り立ちや構成、構成要素などについて考察を深めておいてください。予習復習4時間程度必要です。					
課題に対するフィードバック	課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。		評価方法・基準		受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。	
テキスト	関連書籍及び関連論文					

参考書	授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。 ①『ヨーロッパ庭園物語』ガブリエーレ・ヴァン・ズイレン著、創元社、1999 ②『庭園の世界史』ジャック・ブノアメシャン、講談社学術文庫、1998 ③『世界の庭園歴史図鑑』ベネロビ・ボフハウス、原書房、2014
備考	